

1. 応募の動機・理由を簡単にご記入ください。

わたしたちの暮らす京都の町は昔から町家の景観とともに生活文化を大切にしてきました。そこには、町に暮らす人の生活の知恵や工夫があるからこそ、景観も保たれてきました。最近になって、町家の保全が難しく手放され、マンションやホテルなど現代的な建築物が増え、町の景観も変化してきています。次の世代に美しい町の景観とともに暮らし方を受け継いでいくことが必要であると考えています。家庭科の学習では、京の町家で昔の暮らし方を学ぶことによって、自分たちの現代の生活をより快適にするために工夫を見い出していくとともに、今後の町の人々のつながりや景観についても子どもたちなりの提言ができるように導いていきたいと考えています。

2. 学習予定の概要を以下の3点について記入してください。

(A 中心となる活動, B 授業の狙いと特徴, C 学習の流れ(指導計画))

A 京の町家の見学体験

B 京都市の中心部は碁盤の目のように東西南北に通りが走り、ほぼ30年前の昭和の時代には町家が立ち並ぶ景色が当たり前だった。しかし、平成に入り、次第に人口の流出や世代交代がすすみ、町家が取り壊されて住宅は集合住宅や新建築の住宅が増え、次第に景観が変わってきた。昨今では、インバウンドの影響により観光客を集客する宿泊施設の不足もあり、急激に中心部の土地価格の高騰や高齢化と相続等の問題で古くからの京町家を手放さざるを得なくなり、ホテルの乱立が進んでいる。

京町家の景観を守り、次世代に暮らしのあり方を受け継いでいくためにも喫緊の課題となっている。

本校は、この京都の中心部を校区とする環境から、京町家に住まう子どもや祖父母の家が京町家であったり、近隣に直に京町家を見たり実際にそこで生活する風景を見ることができる環境の中で生活している。この素材を見逃さず、教材としてとらえることで、日本の伝統的な住まい方の工夫を知り、現代の生活に活かすとともに、町の景観はそこに住まう人たちが主体的に創り出すものであることを理解し、自ら景観を守るために提言できるように取り組んでいきたいと考えている、

C

6月「夏をすずしく さわやかに」

京の町家についての見学とお話を聞く	2時間
町家の模型を使って暮らし方の工夫について考える	2時間
マイさわやかプランの作成	1時間
京の町家と人々のつながりでつくるもの	1時間
京の町並みを守ろう	2時間

「冬を明るく暖かく～京町家の暮らしや景観を大切に受け継ごう～」

10月～11月

町家の模型を使って冬の暮らし方の工夫について考える	2時間
マイほかほかプランの作成	1時間
京の町家と町の景観づくりに提言しよう	1時間

その他特記事項がありましたらお書きください

第6学年 家庭科学習指導案

題材名 夏をすずしく さわやかに
～京町家から学ぶ～

学 年 第6学年

指導者 京都市立高倉小学校 福井 博美

1. 題材の目標

京町家の暮らしの工夫から、季節に合った生活の仕方に関心を持ち、通風や採光、遮光など快適な住まい方の工夫を知り、自分の生活に合った快適な暮らし方を考える。また、衣服の着用、及び、手入れの仕方を習得し、自分の生活に役立てようとする。

2. 題材の評価規準

家庭科への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
・京町家の暮らしをもとに夏の暮らしの特徴と課題に気づき、問題解決に取り組もうとしている。	・環境に配慮して夏江尾快適に住まうために生活を工夫することができる。	・夏を快適に過ごすための自分の家でのさわやか快適プランを作成できる。	・夏を快適に過ごすための着方や住まい方を理解している。

3. 読解力の視点から育てたい力

課題設定力	情報活用力	記述力	コミュニケーション力
夏の生活の特徴から問題点に気づき、工夫の仕方を考えるという学習の見通しをもつ。	調べたことや話し合ったことを「マイさわやかプラン」に生かすことができる。	調べた工夫を「マイさわやかプラン」としてまとめている。	グループでの話し合いを通して、夏を快適に過ごすための工夫についての考えを深めている。

4. 指導にあたって

(1) 題材について

京都の夏は、盆地という地形の特徴から、夏は大変蒸し暑くなる。日本は昔から四季に合わせた住まい方や衣服の着方を工夫し、季節に合った生活を送ってきた。京都の初夏も、衣食住の全てにおいて気候に応じた変化が見られるようになる。ここでは、これから真夏に近づくにつれ、気温も上がり蒸し暑さが増してくる時期に合わせて、「夏の暮らし」を中心に、児童の季節感や生活実態に即して題材を扱うこととしている。これにより、児童の題材に対する興味や関心が高まり、意欲的に生活の中での工夫や改善に取り組むことができるようになると考えている。

本題材は住まい方と衣服の着方及び手入れの仕方から、夏を快適に過ごす工夫を見つけ、自分の生活に生かす方法を考える。住まい方に関しては、京町家の暮らし方からヒントを得て、快適に過ごすための工夫を見つけ学習を進めていく。実際に校区内の町家に出向き見学を通して、涼しさと空気の流れとの関係を実感的につかむようにする。町家には、昔から先人たちが暮らしの中で作り上げてきた知恵がたくさんある。その町家を教材として学習することで、蒸し暑い夏を快適に過ごす知恵を見つけることができたり、電化製品に頼らなくても風が通れば涼しく感じることや日光を遮ることで暑さが和らぐことを体験的に学んだりでき

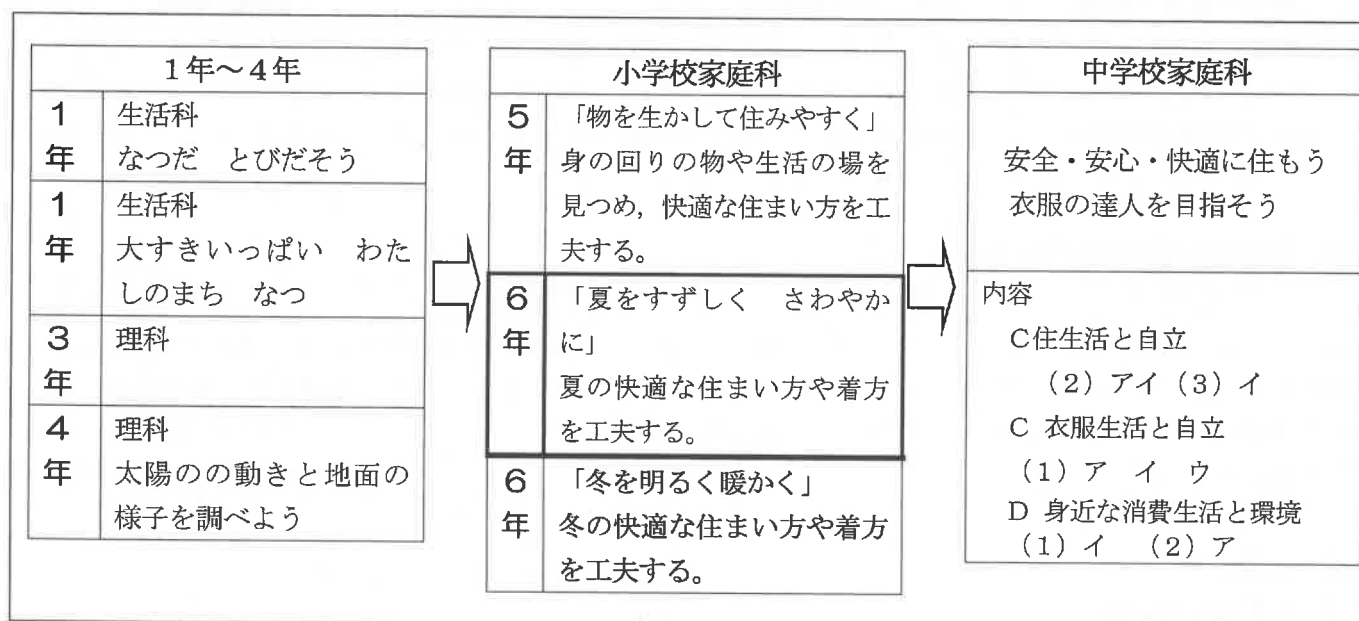
と考える。また、古くから受け継がれてきた町家という伝統を大切にしていこうとする気持ちも育てていきたい。衣服の着方及び手入れ仕方では、自分で調整できる最も身近な環境は、「衣服」であることや季節、気温や目的、生活場面に応じた着方をすることが大切であることに気付かせ、衣服の手入れの方法として、手洗いによる洗濯の仕方も身に付けさせたい。

本題材で学んだ住まい方や衣服の手入れ及び手入れの仕方を自分の学校や家庭での生活に積極的に活用して、健康でさわやかな生活にしていこうと自分なりに工夫する実践的な態度を育てていきたいと考える。

(2) 深い学びにつながる「見方・考え方」

協力・協働	健康・快適・安全	生活文化の継承・創造	持続可能な社会の構築
家族や地域の人々と共に快適に住まうために工夫することを考える。	夏の暮らしに目を向けて、課題をもって、健康・快適・安全で豊かな住まい方について考える。	町家という伝統を大切にしていこうとする気持ちをもつ。	夏を快適に過ごす工夫を、自然を生かし環境に配慮した視点で考える。

(3) 他教科等・中学校との関連



(4) 児童について

本学年の児童は、活発で、自由に意見を交流し合える。グループでの話し合いの場面でも、男女の枠にとられず、意見を言い合える姿が多く見られる。また、題材「朝食から健康な1日」で野菜のための作り方を学習したが、学習終了後、野菜の種類を変えたり味を変えたりして家庭で学んだことを生かして工夫を加え、自分の生活をよりよいものにしようとする実践する姿が多く見られた。本題材でも、夏をすずしくさわやかに暮らす学んだ工夫を家庭で実践することが期待できる。

校区は京都の中心地にあり、町家やビルが混在している地域である。登下校中にも、町家を目にすることがあり、町家の住まいの児童も数名ではあるがいる。しかし、ほとんどの児童はマンションや近年立てられた住宅で住んでいることが多く、町家に入る経験が少ない。また、蒸し暑い夏を快適に過ごす方法として、ほとんどの児童は冷房を使用して室内環境を調整している。そこで、町家から学んだ自然を生かした工夫を自分の生活に生かす方法を考えることにより、自分の生活をよりよいものにしようとする実践的な態度につなげていきたい。そして、この題材で取り扱う京都の古くからの町家の素晴らしさに気づき、町家を大切に

していくことで環境を守ることにもつなげ、町家という伝統を大切にしたい気持ちも育てていきたい。

(5) 指導について

本題材では、児童の生活経験を大切にしながら、「京町家」に対する興味・関心を高め、学習意欲が持続していくように指導していきたい。題材の最後には、学んだことを生かして家族に夏を快適に過ごす工夫をまとめた「マイさわやかプラン」を作り、提案することを目的としている。「マイさわやかプラン」を作成することで、学んだことを自分の生活に合った工夫として考え、家庭で実践できる態度を育てていきたい。

第1次では、夏には冷房によるエネルギーの消費量が高いことに気づき、エネルギーを使用し続ける問題点を認識させる。そこから、電化製品に頼らずに夏を快適に過ごす方法を知る必要性を感じさせたい。そこで、「京町家」の新聞を取上げ、環境に配慮した暮らし方で「京町家」が注目されていて、「京町家」には環境に配慮した夏を快適に暮らすヒントが隠されていることに気付かせ、関心をもたせるようにする。

第2次では、実際に町家を見学し、住まい方の工夫を体感的に学び取るようにする。つぎに、見学した感じとったことや専門家のお話を聞いて学びとったことから、その工夫がなぜ夏を快適にする方法なのかを話し合せ、遮光や採光、通風、季節を感じる飾りつけなどの工夫に気付かせるようにする。気付いた工夫を自分の生活に生かす方法を考え、「マイさわやかプラン」に生かせるようにする。

第3次では、衣服の着用や手入れによる快適な暮らし方について学んでいく。衣服の着用に関しては、夏の服を取り上げ、どのような服の形や色、素材が快適に過ごせるかについて考えさせる。また、汗など汚れた衣服を洗濯することで、快適に衣服を着用できることに気付かせ、手洗いによる洗濯の方法を習得する。ここでも、衣服の着用や手入れについて学んだことを自分の「マイさわやかプラン」に生かせるようにする。

第4次では、今まで立ててきた「マイさわやかプラン」の交流をすることで、互いの立てたプランの良いところを見つけ、自分のプランに生かすことができないかを再考し、学んだことを生かして日常生活で主体的に活動する態度を育むようにしていきたい。

今回の学習は、町家見学、模型を使った授業を京都工芸繊維大学の大学院生、都市計画局、京住まいセンター等の外部機関との連携・協力により、子どもたちの学習をいより深化、拡充したものにできるのではないかと考えている。

4. 題材と教科の計画 (全 10 時間)

次	時	学習活動	○支援・留意点	評価の重点				評価の視点 (評価方法) ☆読解力の視点から育てたい力
				関	創	技	知	
1	1	<p>○夏の暮らしの特徴と課題を考え、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>暑い季節を快適にするためにはどのような工夫ができるだろう。</p> </div> <p>・昔の人はどうやって暑さをしのいでいたのか予想する。</p> <p>・京都の昔からの住まいである町家へ涼しさの工夫を調べに行くこと</p>	<p>○気温と1年間の電気使用量の推移のグラフを見て、夏には冷房で電気を多く消費していることに気づけるようにする。</p> <p>○昔と今の平均気温のグラフを見て、地球温暖化が進んでいることに気づけるようにする。</p> <p>○教科書の挿絵や自分の生活から、着方や住まい方に工夫があることに気づかせ、昔からの京都の住まいである</p>					<p>【課題設定力】</p> <p>☆夏の生活の特徴から問題点に気づき、工夫の仕方を考えるという見通しをもつ。</p> <p>〈関心・意欲・態度〉</p> <p>課題解決のために町家見学で調べたいことを考えようとしている。(ワークシートの記</p>

		を知り、見学のめあてを考える。	町家に工夫の手がかりがあることに気づくようにする。				述)
2	2 ・ 3	○町家を見学して住まいの工夫を見つける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">夏をすずしく住もうための工夫を見つけよう</div> ・感じたことや気付いたことをメモしながら、わからないことは質問する。	・町家の中で、まずは自分で涼しさを体感することを大切にする。 ○専門家の方の話を聞きながら、町家を見学し、体感ではわかからないことは質問するようにする。	○			〈関心・意欲・態度〉 進んで夏を涼しく住もうための工夫を見つけようとしている。(行動観察・ワークシートの記述)
	4 本 時	○町家見学を思い出しながら、町家で見つけた夏を涼しく住もうための工夫をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">町家の模型から夏を快適に暮らすヒントを見つけよう。</div> ・町家で見つけた工夫をグループごとに話し合い、まとめる。 ・模型を使って、工夫を確認する。 ・現在の家の間取りに生かす方法を考える。	○見学時にメモしたワークシートをもとにしながら、グループでまとめるようにする。 ○専門家の話を聞くことで、分からないことは質問して確認できるようにする。				I【コミュニケーション力】 ☆グループでの話し合いを通して、夏を快適に過ごすための工夫について考えを深める。 ○ 〈知識・理解〉 夏を快適に過ごすための住まい方を理解している。(ワークシートの記述)
	5	○自分の生活の中でできる工夫を具体的に考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「マイさわやかプラン」(住まい編)を提案しよう</div> ・自分の家の間取りを書き、どんな工夫ができるかを考える。 ・京都の町家の現況について知る。	○前時に考えた家の間取りを参考にしながら考えるようにする。 ○京都市発行の「わたしたちの環境」p26、27も参考にできることを伝え、環境によいことも意識できるようにする。 ○今まで学習してきたことから町家のよさを大切にしていこうとする意欲にもつなげていくようにする。	○			〈創意工夫〉 夏を快適に過ごすための工夫を現在の自分の家の間取りにも生かす方法を考えている。 〈技能〉 夏を快適に過ごすための自分の家でのさわやかプランを作成している。(ワークシート) 【情報活用力】 ☆調べたことをや話し合ったことを「マイさわやかプラン」に生かすことができる。 【記述力】 ☆調べた工夫を「マイさわやかプラン」としてまとめている。
3	6	○涼しくさわやかに過ごすための衣服の着方を考える。	○夏になって自分の衣服がどのように変わったかを発表し、気持ち				【コミュニケーション力】

	<p>快適な着方を考えよう</p> <p>・教科書 P76 活動 5 の「考えるポイント」を参照し、涼しく過ごす工夫を考え、グループで交流する。</p> <p>・夏を涼しく過ごすために、どのような衣服をどのように着るとよいかをまとめ、発表する。</p>	<p>よく着るために工夫していることを考える。</p> <p>○教科書 P76 資料「布の性質を比べる方法」を参照し、布の性質を比較する実験(手触り、通気性、吸湿性、吸水性、伸縮性、乾燥の早さ)を行って、布による違いを確かめる。</p>				<p>○ ☆グループでの話し合いを通して、涼しくさわやかに過ごすための衣服の着方の工夫について考えを深める。</p> <p>○ 〈知識・理解〉 気温や季節の変化に応じた衣服の着方について理解している。 (観察・ワークシートの記述)</p>
7	<p>○目的に合った衣服を選んで、快適な着方を工夫する。</p> <p>衣服の働きを考えよう</p> <p>・P77 図 2「活動に合わせた衣服」をもとに、いろいろな場面で着る衣服と、着方の特徴についてグループで話し合う。</p> <p>・「遠足に行く」などの場面を想定して、どのような衣服を選ぶか、その理由を含めてワークシートに記入し、自分の考えを発表する。</p>	<p>○教科書 P77 図 2 を参照し、衣服には、前時に学習した暑さや寒さを防いだり、体から出る汗を吸い取ったりする役割だけでなく、けがを防ぐ役割があることを確認する。</p> <p>○活動に合わせた衣服の違いをもとに、衣服には保健衛生上の働きと生活活動上の働きがあることが分かるようにする。</p>				<p>○ 【コミュニケーション力】 ☆グループでの話し合いを通して、衣服の働きについて考えを深める。</p> <p>○ 〈知識・理解〉 衣服の保健衛生上や生活活動上の働きが分かり、生活場面に応じた着方について理解している。 (観察・ワークシートの記述)</p> <p>○ 〈関心・意欲・態度〉 衣服の働きや着方に関心を持ち、生活場面や活動に合わせた着方について考えようとしている。(ワークシートの記述・発表)</p>
8	<p>手洗いで洗濯をしよう</p> <p>○衣服を気持ちよく着たり長く利用したりするための方法を考え、洗濯(手洗い)の仕方を調べる。</p> <p>・衣服の汚れの様子を調べる。</p> <p>・家族に聞いた洗濯するときの工夫を出し合い、洗濯(手洗い)の方法をグループで考える。</p> <p>・かしく上手に洗濯する方法を考え、交流する。</p>	<p>○自分のくつ下を用意するなどして、汚れているところやどんな汚れがついているかを観察し、洗濯の必要性を実感できるようにする。</p> <p>○教科書 P79 図 3「汚れによる吸水力の違い」を参照に実験を行い、汚れた布は水を吸収しにくいことが分かるようにする。</p> <p>○Tシャツや体操服を用意し、P79 図 5「取りあつかい絵表示」の意味を考えることもできる。</p>				<p>○ 【記述力】 ☆観察して気付いたことを実習計画表に記入している。</p> <p>○ 〈知識・理解〉 衣服を気持ちよく着るために手入れが必要であることが分かり、手洗いの方法を理解している。 (観察・ワークシートの記述)</p> <p>○ 〈創意工夫〉 衣服を気持ちよく着るための手洗いの仕方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。 (観察・実習計画表)</p>
9	<p>○夏の生活を工夫しよう。</p> <p>・自分の生活の中でできる工夫を具体的に考える。</p>	<p>○教科書やワークシートを見直し、これまでに学習したことを振り返るようにする。</p> <p>○住まい方では太陽の</p>				<p>○ 〈創意工夫〉 夏を快適に過ごすための工夫を現在の自分の家の間取りにも生かす方法を考えている。 (技能)</p>

		<p>「マイさわやかプラン」(衣服編)を提案しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏を快適に過ごす着方の工夫について考える。 ・「マイさわやかプラン 住まい編」に着方の工夫を付け足す。 	<p>熱の遮断や風通しの工夫、衣服の着方では衣服の形や素材の選び方など、学習したことを確認する。</p>				<p>夏を快適に過ごすための自分の家でのさわやかプランを作成している。(ワークシート)</p> <p>【情報活用力】</p> <p>☆調べたことをや話し合ったことを「マイさわやかプラン」に生かすことができる。</p> <p>【記述力】</p> <p>☆調べた工夫を「マイさわやかプラン」としてまとめている。</p>
4	10	<p>○自分の立てた「マイさわやかプラン」を見直し、これまでに学習したことを振り返る。</p> <p>「マイさわやかプラン」を完成させよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マイさわやかプラン」をグループで交流する。 ・友だちの「マイさわやかプラン」から参考になったことを見つけ、自分の「マイさわやかプラン」に付け足す。 	<p>○P80 活動8「考えるポイント」を参照し、工夫のアイデアを話し合う。(日の当たり方・温度や湿度・風通し・衣服の着方)</p> <p>○自分にできそうな計画を立て、家庭実践に取り組む課題を出すこともできる。</p> <p>○夏の住まい方と着方を工夫できたか、学習を振り返る。</p>			○	<p>【コミュニケーション力】</p> <p>☆グループでの話し合いを通して、自分の立てた「マイさわやかプラン」を再考することができる。</p> <p>【記述力】</p> <p>☆「マイさわやかプラン」に、再考した内容を付け足すことができる。</p> <p>〈創意工夫〉</p> <p>季節の変化に合わせた住まい方や衣服の着方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。</p> <p>(観察・ワークシートの記述)</p> <p>〈関心・意欲・態度〉</p> <p>自分の生活と身近な環境との関わりに関心をもち、環境に配慮した住まい方や着方をしようとしている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p>

6. 本時の学習 (4/10 時間目)

①本時の目標

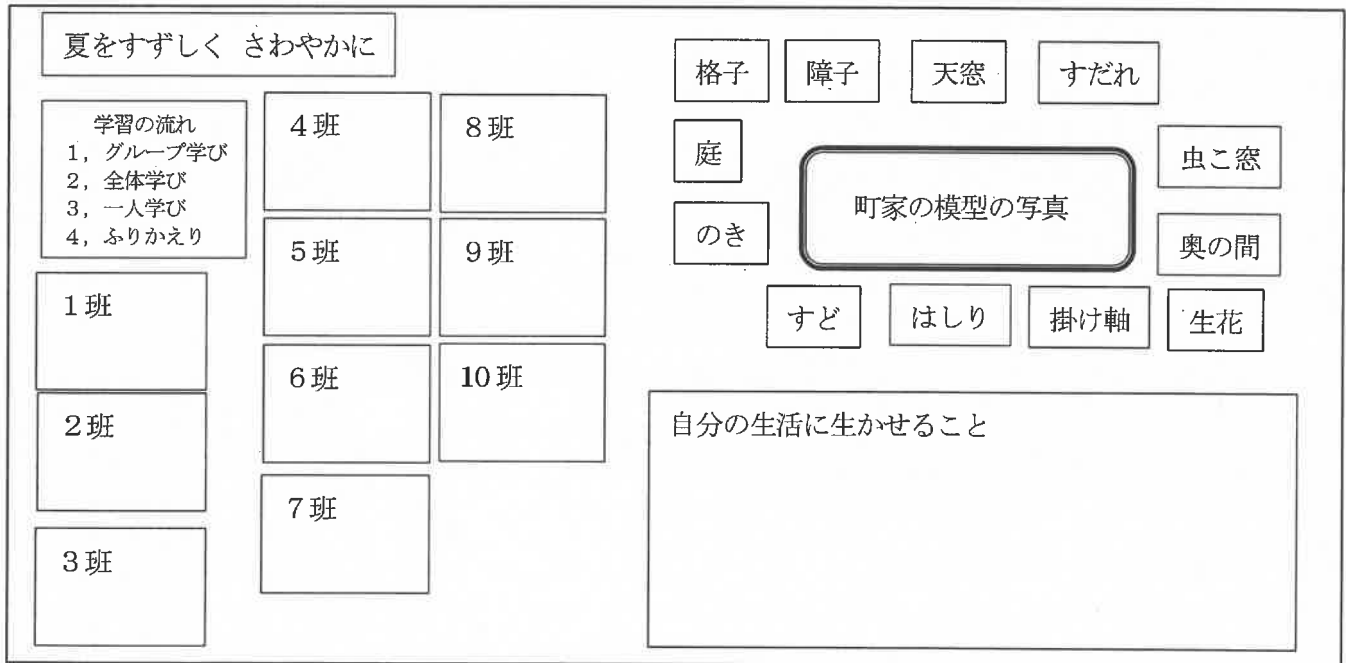
- ・京町家の工夫を知り、夏をすずしくさわやかに暮らすヒントを見つける。(知識理解)
- ・京町家で見つけたヒントを自分の生活に生かす工夫を考えることができる。(創意工夫)

②本時の展開

	学習活動	○おもな支援 ・留意点	◎評価の視点 (評価方法)
導入	1, 本時の学習課題を把握する。	<p>○京町家の見学した時の映像や模型を見てどのような特徴があったのか思い出す。</p> <p>○自分たちの住まいとどのような違いがあるのか考える。</p>	
全体			
	京町家の工夫を知り、夏をすずしくさわやかに暮らすヒントを見つけよう		

展開	2, 京町家にはすずしくさわやかに暮らすためのどんな工夫があるのかを探る。	○見つけた工夫をワークシートに書き入れる。	
グループ			
全体	3, それぞれが見つけた工夫を交流する。	○友だちの意見を聞いて加筆する。 ・発表の中から日光（熱）の遮断と風通し, その他の3つの観点に集約していく。	
	4, 専門家の方の話を聞いて, 町家の工夫を確認する。	○模型を使って確認する。 ○自分の考えをワークシートに書き入れる。	
個人	5, 京町家で見つけた工夫から, 自分の生活に活かせる工夫を考える。	○友だちの意見を聞いて加筆する。 ○教師からのまとめの話をする。 ・環境副読本についても触れる。	〈知識・理解〉 夏を快適に過ごすための工夫を現在の家の間取りにも生かす方法を理解している。 (ワークシートの記述)
全体	6, それぞれの考えを交流する。		
まとめ	7, 本時のふり返りをする。		

③板書計画

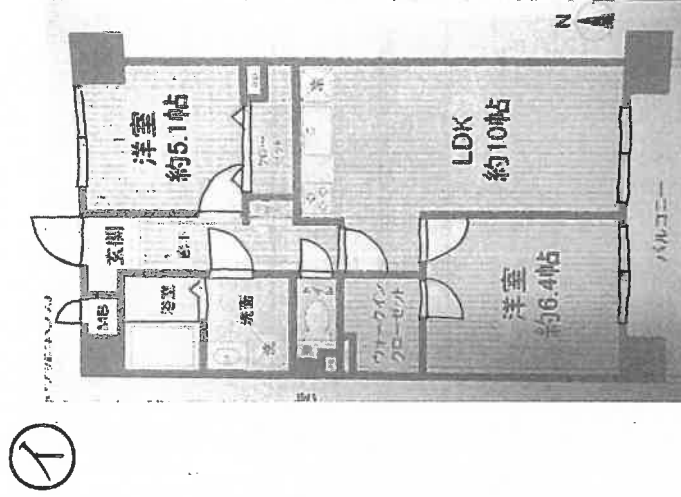
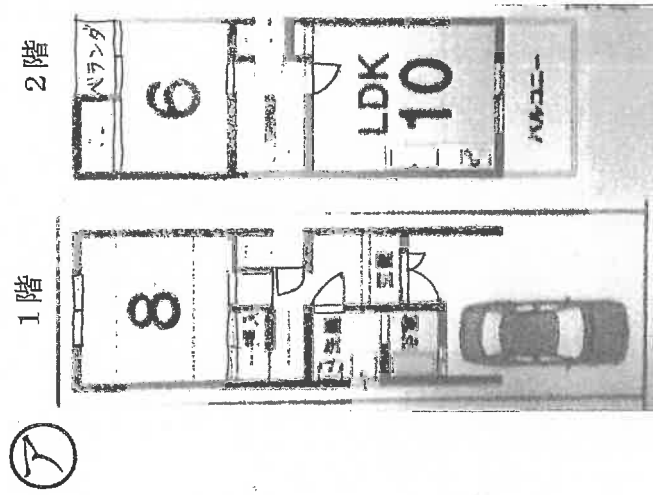


10 夏をすずしく さわやかに

6年()組()番
名前()

めあて:

○町家以外の家では、すずしくさわやかに過ごすために、どんな工夫ができますか。
町家で見つけた工夫を生かして、下の間取りに工夫を書き込みましょう。(自分の自宅に近い方の間取りを選びましょう。)



○今日の学習をふりかえって、学んだことや今後にかきたいことを書きましょう。

Blank area for student reflection, with a dashed line for writing.

10 夏をすずしく さわやかに

100 活動 1

右のイラストの上下の命題の生活を比べて、快適だと思う所、課題がありそうな所を見つけよう。

快適だと思う所

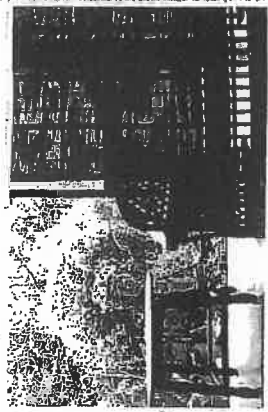
課題

100 活動 2

夏を快適に過ごす工夫を、家族に聞いてみましょう。

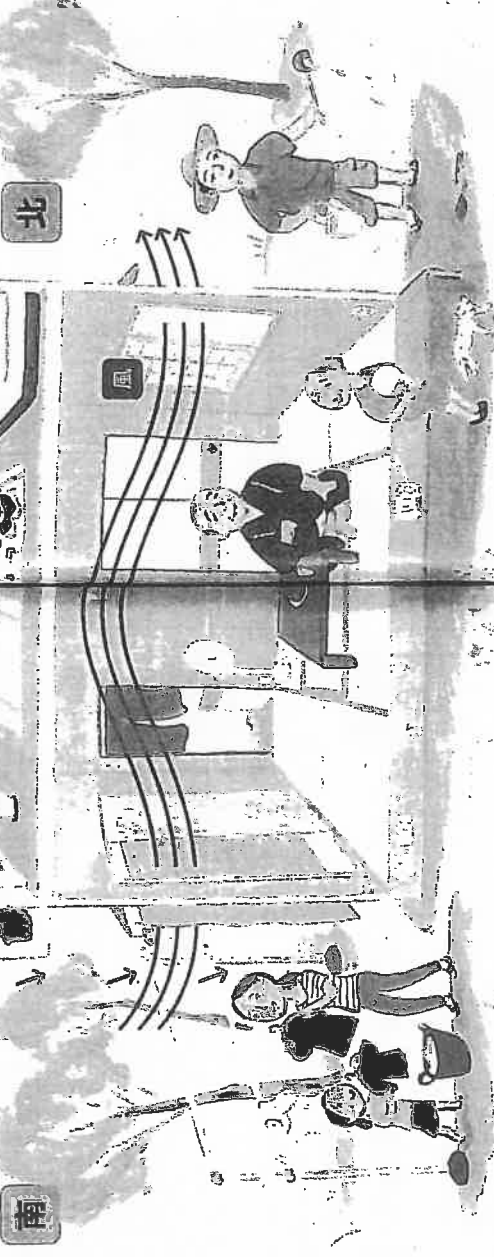
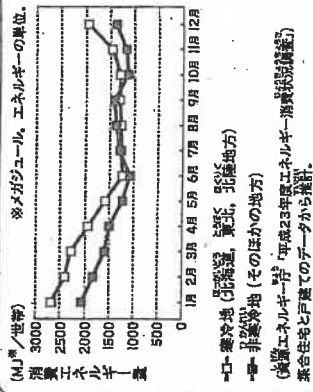
目視

関連
→ 社会5年
「国土の自然と暮らし」
リンク
→ 102~103, 127ページ



ふすまやしょうじの代用に「よし戸」。
風通しをよくするために夏に使う。

100 月別電気消費量



1 夏の生活を見つめよう

私たちの暮らす日本には四季があり、夏は多くの地域でむし暑くなります。夏をすずしくさわやかに過ごすため、私たちはどのような工夫をしているでしょうか。

最近では冷房などの電気を使った方法にたよることも多くなっていますが、ここでは自然をうまく活かした方法も学び、身近な住まいや衣服の環境を快適に整えましょう。

学習のめあて

- 1 見つめよう
夏の暮らしの特徴と課題を考えよう。 (72ページ)
- 2 計画しよう、活動しよう
夏を快適に過ごす住まい方を考えよう。また衣服の着方も考え、手入れや洗濯をしよう。 (74ページ)
- 3 生活に生かそう
新しい課題を見つけよう
快適に過ごす夏の住まい方と着方を工夫しよう。 (80ページ)

扇子



ぞうり



うちわ



孝わら帽子



じんべい

ゆかた

日本の伝統

2 快適な住まい方や着方をしよう

1 自然を生かした住まい方を考えよう

私たちは冷房などを使えば手軽にすずしく過ごすごとができます。しかし冷房を使い過ぎると、多くの電気を消費するだけでなく体調をくずすこともあります。自然を生かしてすずしく過ごすには、直射日光をさえぎったり、風通しをよくしたりします。温度だけでなく湿度が下がることも快適に感じます。自然を生かした方法が組み合わせ、限りあるエネルギーを大切に効率よく使って、快適に過ごさす工夫をしましょう。

活動3

家族に聞いた、夏を快適に過ごす工夫を発表しましょう。



活動4

空気の温度や風の通り方と感じ方を調べ、すずしく過ごす方法を考えましょう。

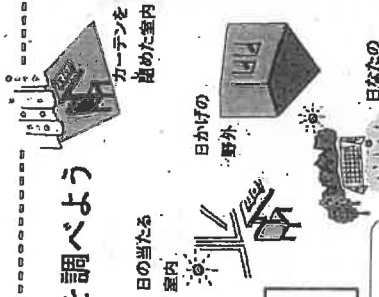
すずしさ調べ

1 空気の温度と感じ方を調べよう

いろいろな場所の空気の温度をはかる。
その場所に行ったり、物をさわったりすると、どんな感じがするか調べる。

安全

- 野外で調べるときは帽子をかぶり、水分をこまめにとって熱中症にならないように気を付ける。
- 勝手に行動をしたり、危険な所に近づいたりしない。



場所	気温	自分の感じ方	月 日 時 分 ~ 時 分	天気
日の当たる室内(壁の手前)				
カーテンを開けた室内				
日の当たる野外				
日かげの野外				

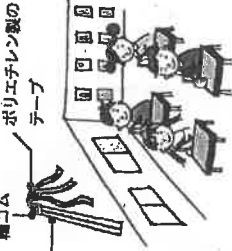
材料と必要な用具

- ① 温度計、方位磁針
- ② 方法1：割りばし、ポリエチレン製のテープ、輪ゴム、はさみ
- 方法2：2Lペットボトル、カッターナイフ、はさみ、セロハンテープ

2 風通しと感じ方を調べよう

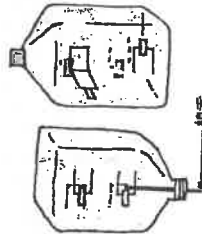
方法1

「ふき流し」を作りひとりで1つ、壁置に持つ。
窓の開け方を変えて、自分のふき流しがゆれたら手を挙げ、みんなの風の感じ方を知ったり比べたりする。



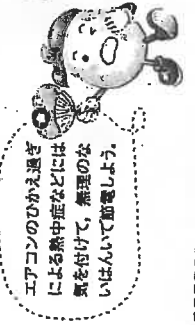
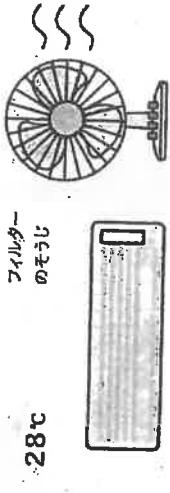
方法2

ペットボトルをカッターナイフで切り、窓がある部屋の構造を作る。
先生に指導のけむりをじゅうまんさせてもらい、ふたを閉める。
窓の開け方を変えて、けむりのぬけ方を比べる。



エアコン(冷房)の使い方の工夫

- 設定温度は28℃を目安にする。
- フィルタをこまめにそうじする。
- 無理のないくらいにエアコンを消し、扇風機を使用する。
- すだれやよしなど窓からの日差しを和らげ、室温が上がりやすいようにする。



エアコンのひかえ過ぎによる熱中症などには気を付けて、無理のないくらいに節電しよう。

グリーンカーテンの効果

庭辺に植物を植えると、葉が日光をさえぎる。また、葉から出る水分の蒸気によって空気の温度が下がる。



打ち水の効果

庭や庭に水をまく打ち水は、水が蒸発するとき空気の温度を下げる働きを利用している。



材料

道具

※サモグラフィー(表面の温度を色で表した写真)を比べた。

方法

手順

月 日 時 分 ~ 時 分
天気
風のようす
窓の開け方
片側の窓を2つ開けたとき
向かい合う両側の窓を1つずつ開けたとき
対角にある両側の窓を1つずつ開けたとき

これだけではできるだけよくなるよう
日光の当たり方や風の通り方を工夫して、すずしく過ごすことができる。

家庭科学習指導案

日 時 平成29年11月21日(火) 第2・3・4時

題 材 名 冬を明るく暖かく
～ 京の町家から学ぶ ～

学年・学級 第6学年1・2・3組

指導者 京都市立高倉小学校 安原 麻耶

1. 題材目標

京町家の暮らしをもとに、冬の季節に合った生活の仕方に関心を持ち、採光、保温、暖房器具の活用、衣服の暖かい着方など自然を生かした住まい方と快適な着方の工夫を知り、自分の生活に合った快適な暮らし方を考える。

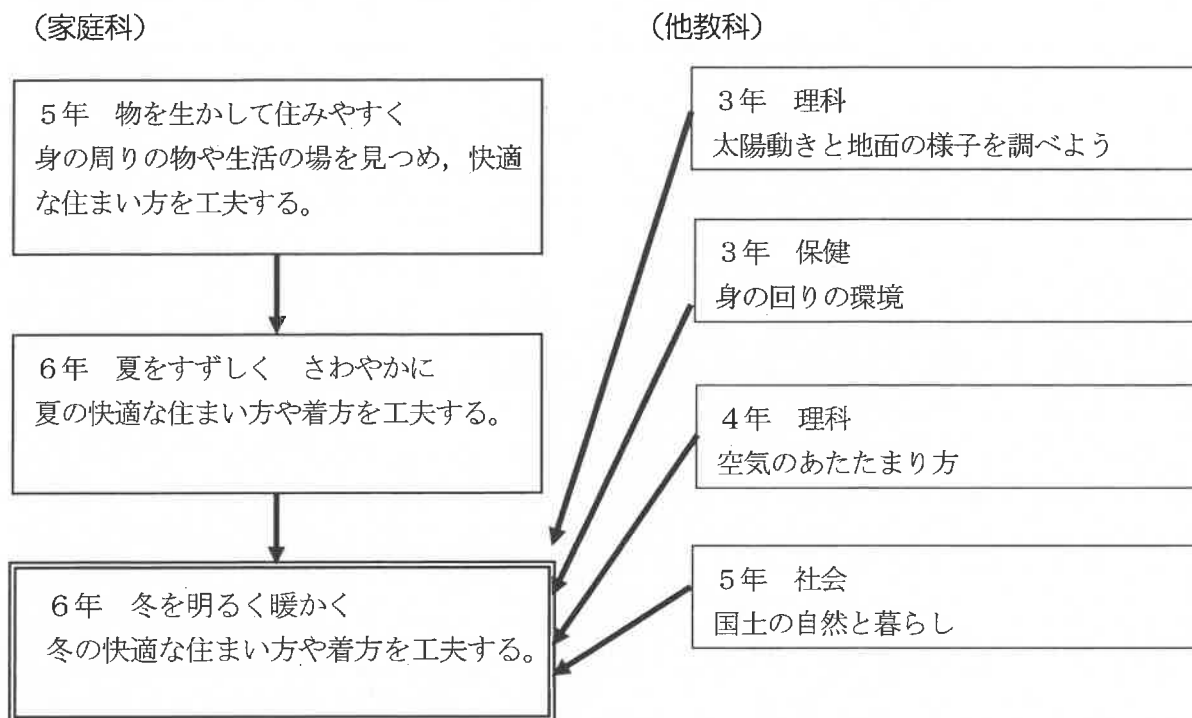
2. 題材における評価規準

家庭科への 関心・意欲・態度	生活を創意工夫する 能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
・京町家の暮らしをもとに冬の暮らしの特徴と課題に気付き、問題解決に取り組もうとしている。	・環境に配慮して冬を快適に過ごす「ほかほかプラン」を工夫している。		・冬を快適に過ごすための効率のよい暖房器具の使い方や衣服の着方を理解している。

3. 読解力の視点から育てたい力

課題設定力	情報活用力	記述力	コミュニケーション力
・冬の生活の特徴から問題点に気付き、工夫の仕方を考えるという学習の見通しをもつ。	・調べたことや話し合った冬を快適に暮らす工夫を「マイほかほかプラン」に活用することができる。	・冬を快適に暮らす方法を「マイほかほかプラン」としてまとめている。	・グループでの話し合いを通して、冬を快適に過ごすための工夫について考えを深める。

4. 題材について



① 教材観

夏に学習した「夏をすずしくさわやかに」と同様に、ここでも快適で健康な暮らしを営むことを基本とし、衣服の着方と住まい方の学習を中心に題材を構成している。住まい方については、衣・食以上に親任せで無関心な児童が多い。それだけに、身近な住生活への関心を高めることは重要である。どの家庭も冬を明るく暖かく過ごすための何らかの工夫を行っている。これらの工夫は、空気の保温性や日照効果など科学的な原理の生活への活用である。日頃何気なく過ごしている生活の中に、自然のもたらす効果を巧みに取り入れた工夫があることを見つけることは、生活を工夫することのよさや大切さを児童に再認識させることにつながる。今日、エネルギー資源の有限性や地球温暖化などの問題は家庭生活と無縁ではないことが明らかにされている。自分の住まい方を意識させることを通して、持続可能な社会を展望した生活の仕方を工夫する必要性にも気付かせたい。また、児童が自分の手で調節できる最も身近な環境である「衣服」の着方を学び、さらにその外側である住まいの保温にも空気の調節が共通していることにも気付くようにしている。

また、冬の生活の工夫を探す活動を通して、少しでも健全で安全、かつ快適に過ごせるように取り組んでいる家族の思いに児童が気付くことができるようにしている。この題材を通して、自分も家族の一員として、進んで生活を工夫しようとする意欲や実践的な態度を育むようにしたい。

② 児童観

本校の6年生の児童は、「夏をすずしくさわやかに」の学習で京町家の暮らしをヒントに夏を快適に暮らす工夫を見つけ、自分の住まいにどのように生かすかを具体的に考えることができた。今回も京町家の造りや建具などの工夫を思い出しながら、昔の人々の電気に頼らない生活から冬のエコな暮らし方のヒントを見つけ、自分の住まいに生かす方法について考えていく。マンション住まいの児童も多く、京町家とは造りは大きく異なるが、採光・保温という工夫が冬を明るく暖かく暮らすヒントになることに気付けば、自分の住まいにもつなげていくことができるだろう。

また、現在は家の中が寒いと感じれば、すぐに電気やガスを用いて暖かい室内を作ることができる環境であるが、夏の学習時と同様にエネルギーの問題に気付かせることで、うまく暖房器具も使いながら自然環境にも配慮した冬の室内の過ごし方を考えられるようにしていきたい。

③ 指導観

第1時では、冬の気候の特徴に目を向け、これからの学習の計画を立てる。冬は温度が低く、湿度も低い。そして、日照時間が短いという特徴がある。そのような特徴のある冬を快適に過ごすためには、どのような工夫ができるのかを学習していくというねらいを捉え、具体的な方法を考えていく。寒ければ、暖房器具をつければすぐに快適な環境を作り出せる時代であるが、エネルギー問題に着目し、電気のなかった時代の人々の生活の工夫に着目させ、ヒントを得る手がかりとして今回も町家での住まい方の学習を思い起こさせたい。夏に学習した町家の住まい方の工夫や造りを思い出すことで、現代の家の様子と比べ、それぞれの利便性を挙げることで、電気に頼るだけでない生活の工夫があることに気付けるようにしていく。

第2時では、前時に予想したことをもとに、町家の模型を見ながら、専門家の方に京町家の冬の住まい方について話を聞く。町家では、ひさしの位置が冬の太陽の光を室内に取り込める高さに計算されていること、庭に植えられている落葉樹が夏には日差しを遮る役目を果たしたが、冬には葉が落ちることで部屋に光を取り入れられること、しょうじや天窓が風は通さないが光は通すこと、これらの工夫が冬の室内を明るく暖かくしている。また、生活を主にする空間と外との間に空気層があることで寒さを和らげ、室内の暖められた空気を保温する役割を果たしている。これらの採光や保温の工夫を中心に話を聞くことで、町家とは造りの異なる現代の家でも、その二つの工夫が自然を生かした冬を快適に暮らす方法の手がかりになることに気付くであろう。そこで、現代の自分たちの住まいでも、家の造りを変えることはできないが、日中にはしょうじや薄いカーテンを用いて日光を取り入れたり、日が沈んだ後には厚手のカーテンで保温したりする工夫ができることに気付いたり、家の中の暖かい場所を見つけ、そこで過ごすことが少しでもエネルギーの節約につながることに気付いたりするようにしていきたい。

第3時では、第2時でも取り上げたいろいろな暖房器具の特徴を詳しく知り、それぞれの暖房器具の上手な活用方法を工夫することも消費エネルギーを節約することにつながることに気付かせていきたい。その際には、暖房器具を使用する際の留意点として起こりうる事故や換気の必要性についても触れ、安全にも気をつけて使用するように指導したい。また、夏と同様に衣服の着方を工夫することで暖かく過ごせることにも気付かせる。重ね着をすることが暖かくする工夫であることはほとんどの児童が今までの経験から知っていることであるが、その理由は、重ね着をすると衣服と衣服の間に静止した空気の層ができ、体温で暖められるからであることに気付かせたい。そして、空気を保温して暖かさを保つという工夫は、住まい方にも着方にも共通している工夫であることに気付くであろう。

第4時では、これまで学習してきたことを生かし、家族の一員として自分の家でできる冬を快適に過ごす工夫を具体的に考える。その際に、自分の住まいの造りや家庭に実際にある暖房器具、冬用の衣服を思い起こしながらできる工夫を具体的に考えることで、実践意欲につなげていきたい。

5. 題材計画 (全4時間)

次	時	学習活動	○支援・留意点	評価の重点				◎評価の視点 (評価方法) ☆読解力の視点から育てたい力
				関	創	技	知	
1	1	<p>○冬の暮らしの特徴と課題を考え、学習の見直しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 冬の暮らしの持ちようから課題を見つけよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・夏に見つけた町家の住まい方の工夫を思い出す。 ・町家と現代の住まいを比べ、学習課題を考える。 	<p>○町家の写真や模型を見せることで、夏に見つけた町家の住まい方の工夫を思い出せるようにする。</p> <p>○町家と現代の住まいの住まい方を比べることで現代の住まいにある冬の住まい方の課題に気付くようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境によいのは町家の住まい方であるが、暖かく快適であるのは現代の住まいであることに気付かせ、課題を考えさせる。 	○				<p>【課題設定力】</p> <p>☆冬の生活の特徴から問題点に付き、工夫の仕方を考えるという学習の見直しをもつ。</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>京町家の暮らしをもとに冬の暮らしの特徴と課題に付き、問題解決に取り組もうとしている。(行動観察・ワークシート)</p>
2	2	<p>○町家の住まい方から冬の住まいの工夫を見つける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 京町家から冬を快適に過ごすためのヒントを見つけよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・町家での採光や保温の工夫について知る。 ・暖房器具の上手な活用方法について話し合う。 ・本時の学習 (採光・保温・暖房器具の活用) で学んだ快適に暮らすための工夫を現在の家の間取りに生かす方法を話し合う。 	<p>○冬の快適な住まい方について前時に考えた工夫をもとにしながら、採光・保温の工夫を中心に専門家の方に話を聞けるようにする。</p> <p>○町家の模型と話の内容とを照らし合わせながら聞くことで、イメージしやすくする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暖房器具の特徴を知り、起こりうる事故や換気の必要性についても触れるようにする。 <p>○一般的な現代の家の間取りを提示し、グループで話し合えるようにする。</p>				○ <p>【コミュニケーション力】</p> <p>☆グループでの話し合いを通して、冬を快適に過ごすための工夫について考えを深める。</p> <p><知識・理解></p> <p>京町家の冬の暮らし方をもとに、現代の住まいでの冬を快適に過ごすための住まい方を理解している。(行動観察・ワークシート)</p>	
3	3	<p>○暖房器具の具体的な活用方法や衣服の着方について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> エネルギーを節約して冬を快適に過ごす住まい方や着方を考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・暖房器具の上手な活用方法について話し合う。 ・衣服の快適な着方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に続き、暖房器具の活用の仕方を詳しく調べ、エネルギーを節約して使う工夫を考えるようにする。 ・衣服を重ね着することで空気層を作り、保温されることに気付くようにする。 				○ <p><知識・理解></p> <p>冬を快適に過ごすための効率的な暖房器具の使い方や衣服の着方を理解している。(行動観察・ワークシート)</p>	

4	4	<p>○自分の生活の中でできる工夫を具体的に考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「マイほかほかプラン」を提案しよう</p> </div> <p>・自分の家の間取りを書き、どんな工夫ができるかを考える。</p>	<p>○前時に考えた一般的な現代の家の間取りを参考にしながら、自分の家ではどんな工夫ができるかを考えることで、具体的に生活に生かすことができるようにする。</p>		○			<p><創意工夫> 冬を快適に過ごすための工夫を現在の自分の家の間取りにも生かす方法を考えている。(ワークシート)</p> <p>【情報活用力】 ☆調べたことや話し合ったことを「マイほかほかプラン」に生かすことができる。</p> <p>【記述力】 ☆調べた工夫を「マイほかほかプラン」としてまとめている。</p>
---	---	---	---	--	---	--	--	--

6. 本時の目標

京町家での冬の暮らし方をもとに、現代の住まいでの冬を快適に過ごすための住まい方を理解することができるようにする。

7. 本時の展開（2/4時間目）

学習内容・活動	○支援・留意点	評価規準・読解力の視点から育てたい力（方法）
京町家から冬を快適に暮らすためのヒントを見つけよう		
<p>1. 京町家の冬の住まい方の工夫を予想する。</p> <p>2. 京町家の冬の住まい方を知る。</p> <p>3. 京町家の冬の住まい方から現在の住まいにも生かせる工夫を話し合う。</p> <p>4. 暖房器具の使い方について注意すべき点を考える。</p> <p>5. ふりかえりをする。</p>	<p>○前時の学習を思い出し、予想できるようにする。</p> <p>○町家の模型と照らし合わせながら専門家の方の話を聞くことで、具体的に工夫が理解できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬を明るく暖かく過ごすためには、日光をうまく部屋の中に取り入れること（採光）や暖かくなった室内の温度を保つ（保温）工夫が必要なことに気付くようにする。 <p>○（明るさ）（暖かさ）の2つの項目で考えることで、それぞれの具体的な方法を話し合えるようにする。</p> <p>○個人で考えたあと、グループで話し合うことで、全員が意見を出し合えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暖房器具は便利であるが、使い方を間違えると危険なことや効率的な使い方がある（部屋の空気の循環について考える）ことなどに触れておく。 ・本時のめあてについて振り返るようにする。 ・次時は、暖房器具の効率的な使い方と衣服の着方について学習することを予告する。 	<p><知識・理解> 京町家の冬の暮らし方をもとに、現代の住まいでの冬を快適に過ごすための住まい方を理解している。（行動観察・ワークシート）</p>

板書計画

冬を明るく暖かく

京町家から冬を快適に暮らすヒントを見つけよう。

明るく

暖かく

京町家（予想）

- ・落葉樹
- ・ふすま
- ・じょうじ
- ・とびらを閉める
- ・じゅうたん
- ・湯たんぽ
- ・火鉢

学習の流れ

1. めあて
2. 全体学び
3. 一人学び
4. グループ学び
5. ふりかえり

町家の間取り

現在の住まいの間取り

部屋の空気をきれいに

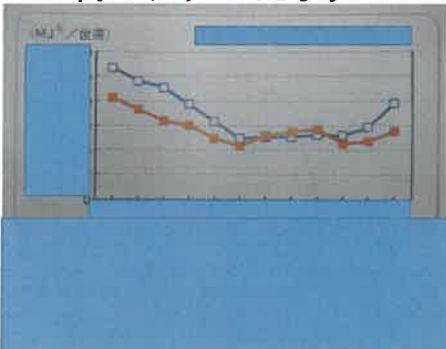
小学校家庭科

夏を涼しくさわやかに
～京の町家から学ぶ～

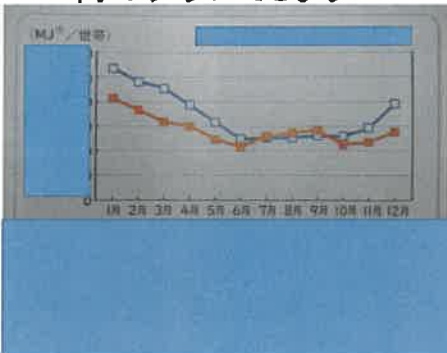


京都市小学校家庭科教育研究会

何のグラフでしょう？

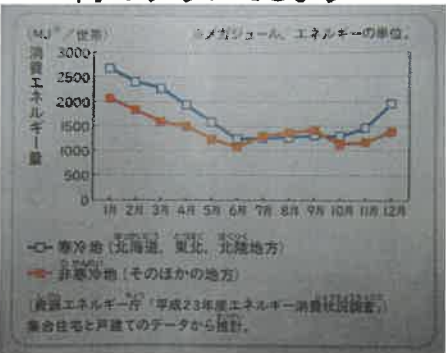


何のグラフでしょう？



何のグラフでしょう？

MJ/世帯
メガジュール、エネルギーの単位。



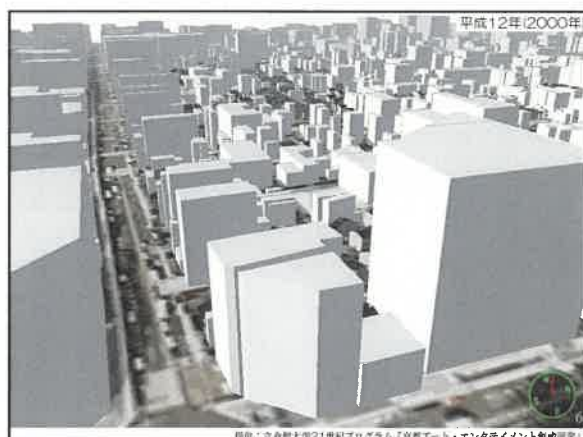
○ 寒冷地 (北海道、東北、北陸地方)
● 非寒冷地 (その他の地方)

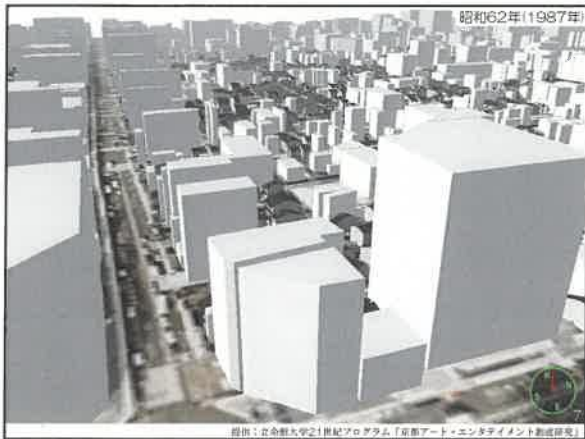
資料エネルギー庁「平成23年度エネルギー消費状況調査」
集合住宅と戸建てのデータから推計。

課題の設定

どうやって、夏の暑さを
しのいできたのだろう

今のみんなが
昔の人がしてきたこと
していること





課題の設定

どうやって、夏の暑さをしのいだのだろうか

今みんなが 昔の人がしてきたこと
していること

課題の検討と解決

京の町家を見つけよう

夏を涼しく住まうためにどんな工夫があるのだろうか



課題の検討と解決

京町家を見学しよう



課題の検討と解決

感じたことや気づいたことを話し合ってみよう



課題の検討と解決

知りたいことやわからないことを質問しよう



課題の検討と解決

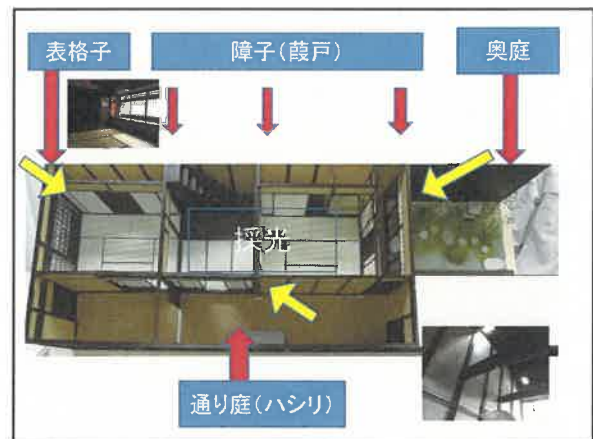
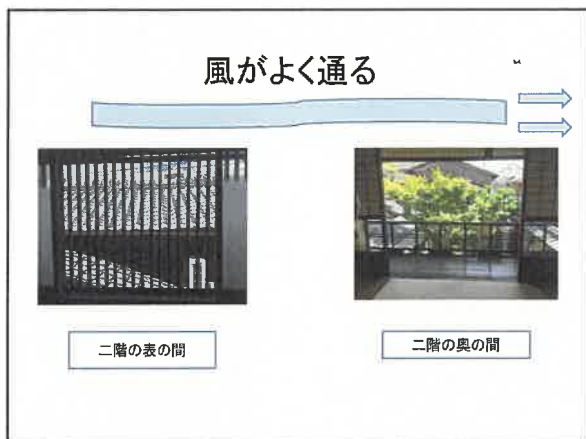
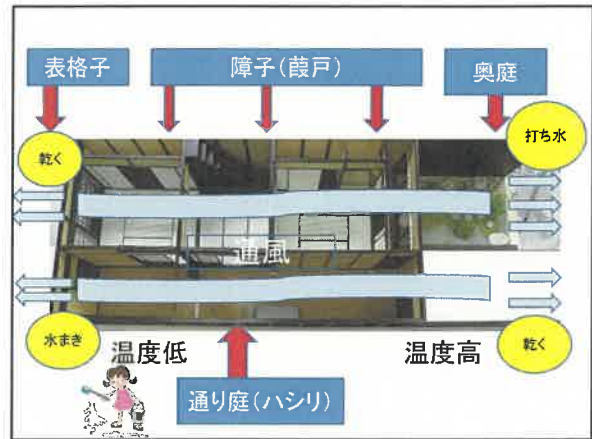
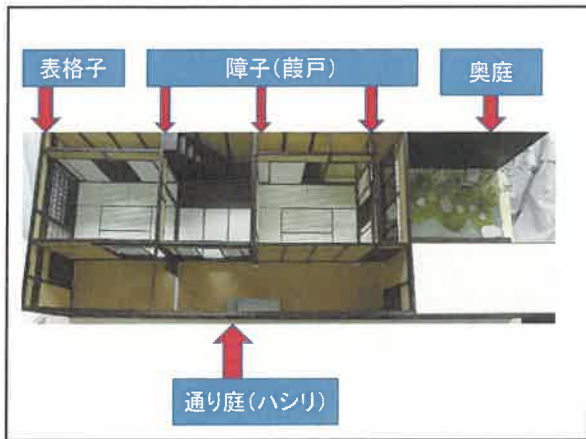
京町家の模型から快適に暮らすためのヒントを見つけよう

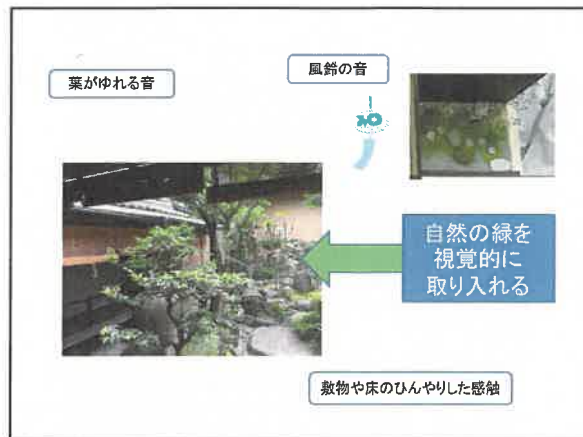
模型で見学したときのことを振り返ろう



模型で見学したときのことを振り返ろう







自分の生活への実践化

京の町家から学んだことを生かして
自分の家でも取り入れられる
ことはないか考えてみよう

↓

「マイさわやかプラン」を提案しよう

家の間取り(まどり)をくらべてみよう

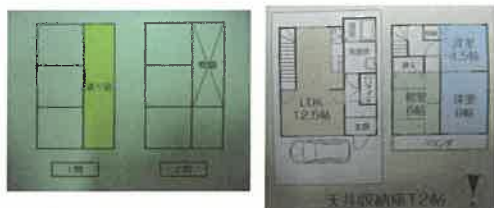
京町家の間取り

マンションの間取り

風や光の入り方を考えてみよう

風や光の入り方を考えてみよう

いろいろな住まいを見て考えてみよう



自分たちの町を歩いてみよう



自分の生活への実践化

みんなの暮らす町で起きていること



京町家の文化を受け継いでいくために
新しい発見、関心をもって見ていこう

京町家の文化によって育まれてきたこと



自分たちにもできることはないかな

小学校家庭科

冬を明るく暖かく
～京の町家から学ぶ～



京都市小学校家庭科教育研究会

課題の検討と解決

京の町家で見つけよう

夏を涼しく住むためにどんな工夫があったか思い出そう



課題の検討と解決

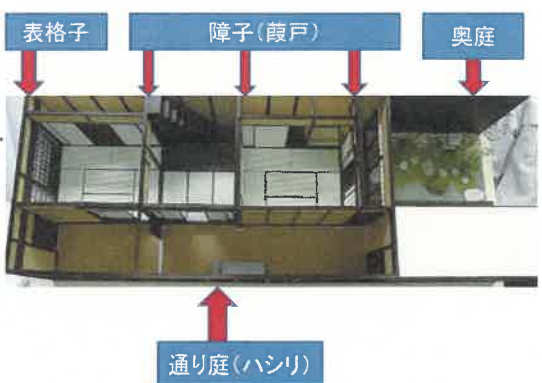

どんな工夫があったかな



模型で見学したときのことを
振り返ろう



模型で見学したときのことを
振り返ろう

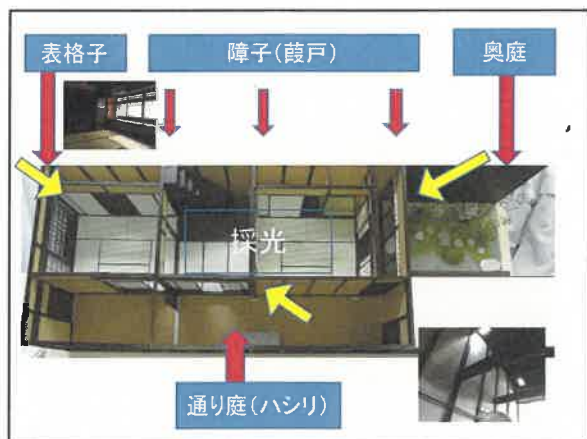
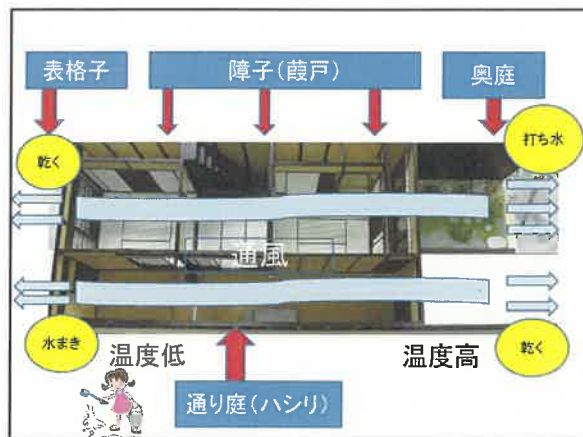


表格子

障子(藪戸)

奥庭

通り庭(ハシリ)



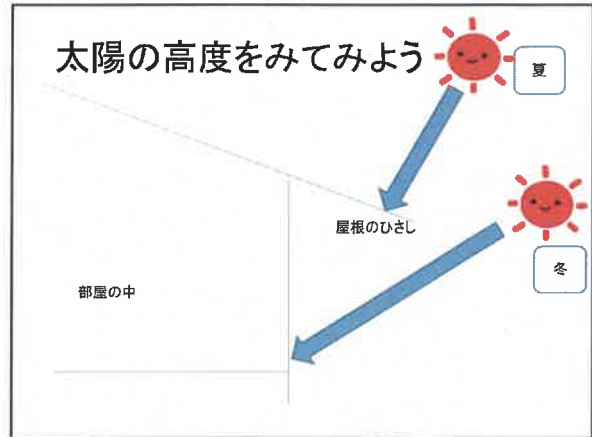
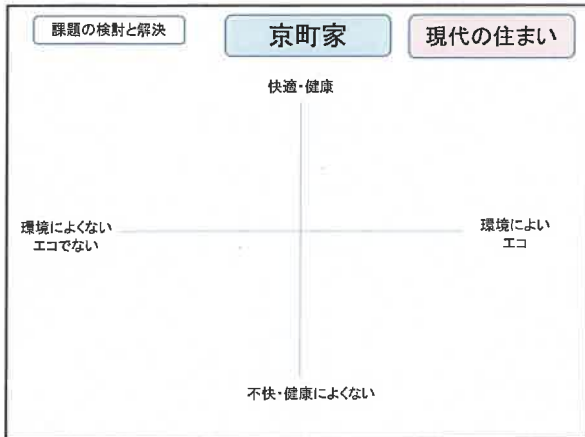
課題の設定

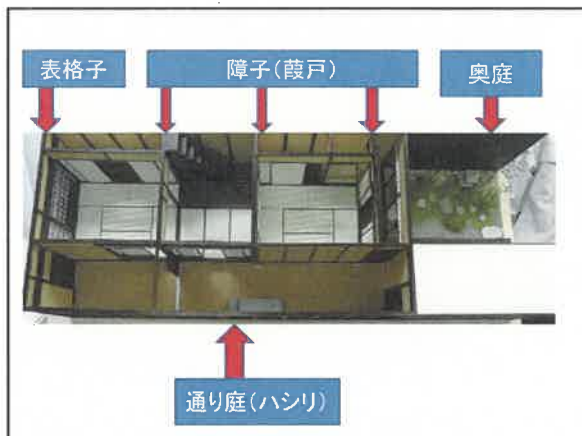
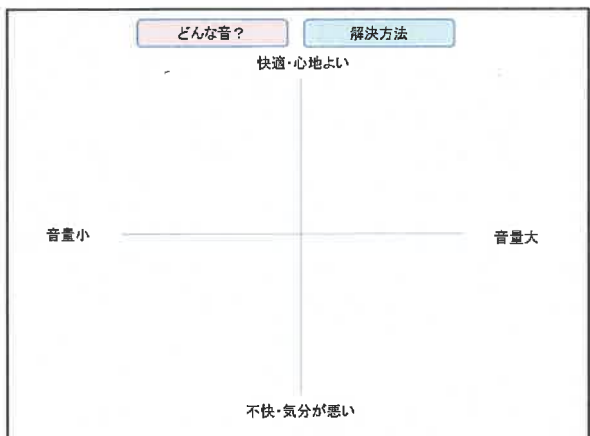
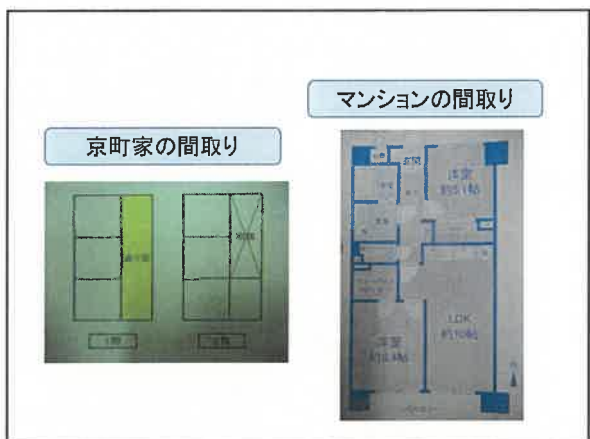
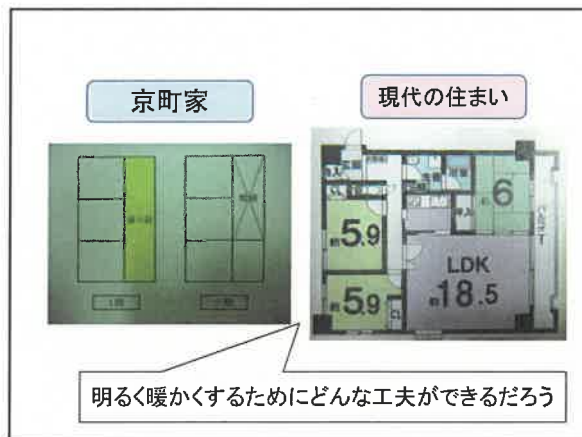
では冬の寒さはどのようにしてしのいできたのだろう

今みんながしていること 昔の人がしてきたこと

課題の検討と解決

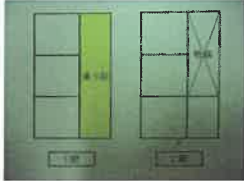
京町家と現代の住まいのつくりをくらべてみよう






音の出入りを考えてみよう

京町家の間取り



マンションの間取り



自分の生活への実践化

京の町家から学んだことを生かして

自分の家でも取り入れられる
ことはないか考えてみよう

↓

「マイほかほかプラン」を提案しよう

京町家の文化によって育まれてきたこと



自分たちにもできることはないかな